

Rally Japan Press



FIA世界ラリー選手権

WRCをもっと知りたい!



新世代 WRC

「ハイブリッド元年」の最終戦は
フォーラムエイト・ラリージャパン2022



愛知・岐阜で 目撃 せよ

Title Partner: **FORUM8**

Gold Partner: **GR TOYOTA GAZOO Racing**

Silver Partners: **MS&AD** (三井住友海上), **TRANCOM**

Bronze Partners: **ACT HOLDINGS**, **GREENUM**, **DENSO**, **e+ イープラス**, **NKC**, **NISHIO**, **PUMA**

Official Supporters & Official Supplier: **AsahiKASEI** (旭化成グループメディカル), **JTB** (感動のそばに、いつも。), **TAMADIC** (調剤メーカー、薬のメーカー), **愛知県・岐阜県 オールトヨタ販売店**

FIA World Rally Championship 2022

2022年世界ラリー選手権カレンダー

Round	開催国	日程
Rd.1	モンテカルロ	1月20~23日
Rd.2	スウェーデン	2月24~27日
Rd.3	クロアチア	4月21~24日
Rd.4	ポルトガル	5月19~22日
Rd.5	イタリア	6月2~5日
Rd.6	ケニア	6月23~26日
Rd.7	エストニア	7月14~17日
Rd.8	フィンランド	8月4~7日
Rd.9	TBA	8月18~21日
Rd.10	ギリシャ	9月8~11日
Rd.11	ニュージーランド	9月29日~10月2日
Rd.12	スペイン	10月20~23日
Rd.13	日本	11月10~13日

9 TBA
TBA

5 2 Jun - 5 Jun
Italy, Sardinia

3 21 Apr - 24 Apr
Croatia, Zagreb

1 20 Jan - 23 Jan
Monaco, Monte-Carlo

4 19 May - 22 May
Portugal, Matosinhos

12 20 Oct - 23 Oct
Spain, Catalonia

2 24 Feb - 27 Feb
Sweden, Umeå

8 4 Aug - 7 Aug
Finland, Jyväskylä

7 14 Jul - 17 Jul
Estonia, Tartu

10 8 Sep - 11 Sep
Greece, Lamia

11 29 Sep - 2 Oct
New Zealand, Auckland

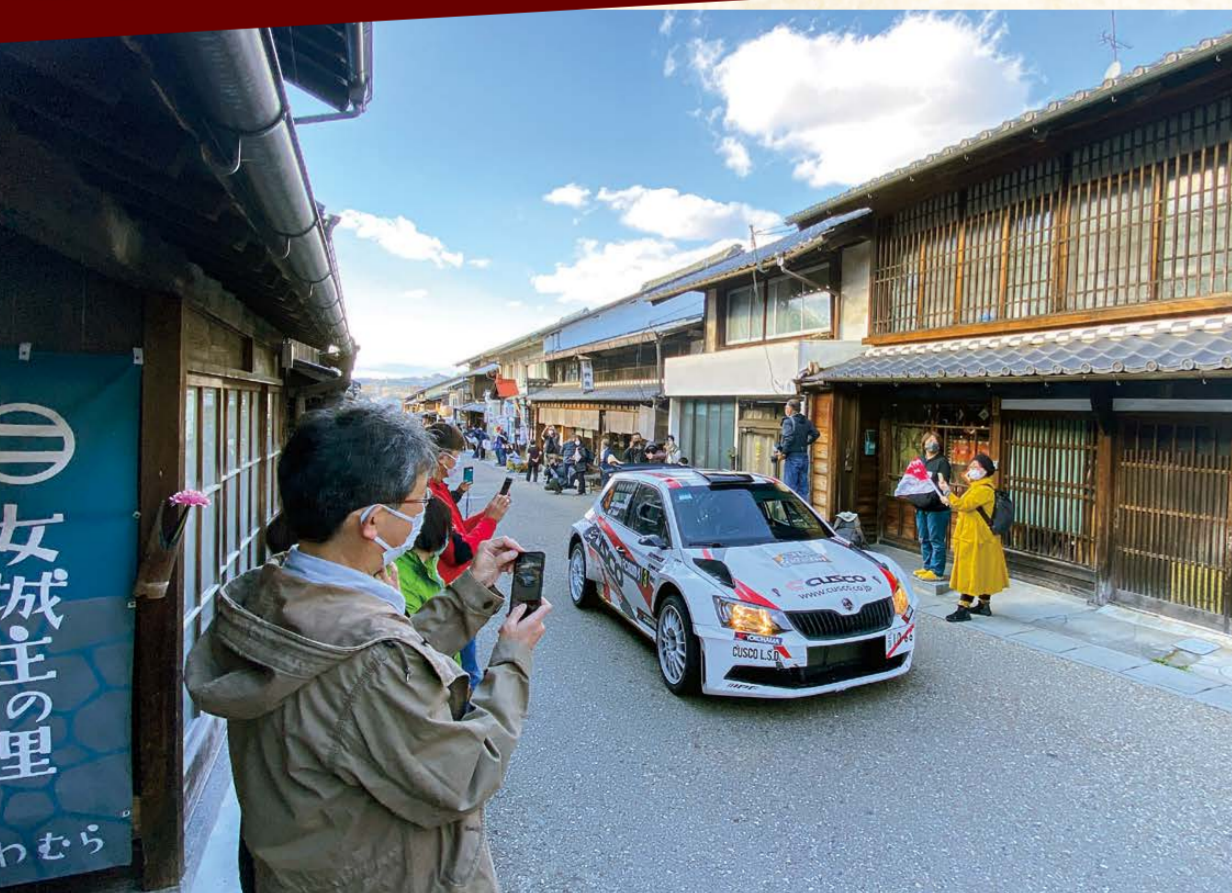
6 23 Jun - 26 Jun
Kenya, Nairobi

FORUM8 Rally Japan 2022

13 10 Nov - 13 Nov
Japan, Aichi/Gifu

フォーラムエイト・ラリージャパン2022の見所にフォーカス

最大500馬力のモンスターマシンと最強のドライバーたちがやってくる



ラリーの最高峰シリーズであるWRC（世界ラリー選手権）の日本ラウンド「フォーラムエイト・ラリージャパン2022」が、今年11月10日（木）～13日（日）に開催される。かつて日本では2004年から2010年にかけて北海道でWRCが行われていた。その後しばらく空白期間があったが、満を持して日本ラウンドが復活。愛知県と岐阜県を舞台に、新たなスタートを切る。

本来ならば、ラリージャパンは2020年に開催される予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2年連続で中止を余儀なくされた。それだけに「今年こそ！」と楽しみにしているファンはきっと多いだろうが、2022年のラリージャパンはその期待に十分応えられる魅力が満載だ。

2022年のWRCは参戦車両のレギュレーションが大きく変わり、新たにハイブリッドシステムを搭載する「ラリー1」がトップカテゴリーマシンとなる。トヨタ、ヒュンダイ、Mスポーツ・フォードの3マニファクチャラーが全力で開発してきたラリー1は、最大500馬力程度を発

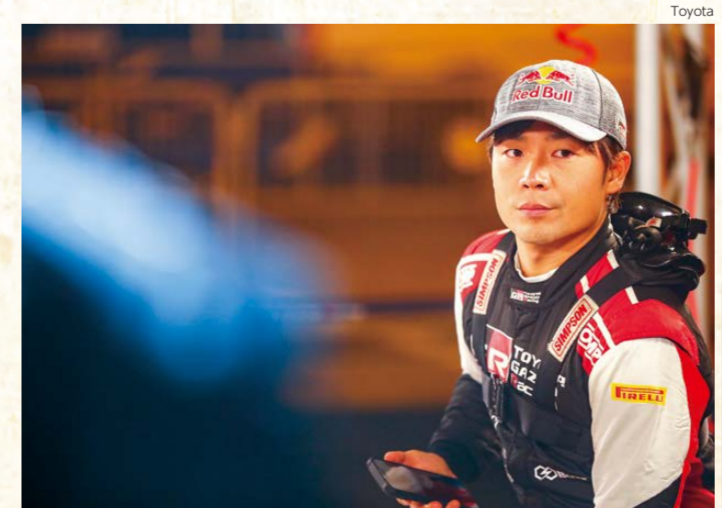
揮する。そのモンスターマシンが、愛知県と岐阜県の一般道を初めて疾走するのだから必見だ。ラリージャパンが2022年WRCの、最終戦であることも見どころのひとつ。2021年は、最終戦のラリー・モンツァ（イタリア）ですべてのタイトルが決まり、トヨタがマニファクチャラー王者に輝き、トヨタ・ヤリスWRCをドライブしたセバスチャン・オジエが、通算8回目となるドライバーズタイトルを獲得した。それだけに、今年はラリージャパンがタイトル決定戦となる可能性も十分にある。また、現役最強のドライバーであるオジエは、今季数戦にしか出場しないが「個人的にはラリージャパンに出たいと思っている」と述べている。もしオジエの出場が実現したら、それはチャンピオンの走りを生で見る、とても貴重な機会になる。

WRCのマシンは今季からハイブリッドシステムが搭載される。競技中のリエゾン区間でフル充電し、SSの開始直後から電気ブーストを使うことが可能になるという。つまり、すべてのステージでトップのパフォーマンスを発揮する走りが見られるようになる。



日本人としては、トヨタの勝田貴元の地元凱旋も非常に楽しみだ。愛知県長久手市出身の勝田は昨年、伝統のサファリラリーでオジエと総合優勝を争い、総合2位でフィニッシュ。世界のトップで戦えることを証明した。新開発のGRヤリス・ラリー1で挑む今シーズンはさらなる活躍が期待され、シリーズ最終戦となるラリージャパンではきっと素晴らしい走りを見せてくれるに違いない。

ターマック（舗装路）ラリーとして行われる今年のラリージャパンのコースは、山岳地帯の峠道だけでなく、アクセスしやすい街中にも設定される予定だ。11月第2週の週末は家族全員で愛知県や岐阜県を訪れ、迫力の走りを楽しみ、優勝やタイトルを争うマニファクチャラーと選手を応援してみたいはいかがだろうか？



Toyota

トヨタの育成ドライバーとしてWRCに参戦する勝田貴元。これまでコツコツと経験を積み重ね、昨年についに表彰台を獲得した。2022年の地元凱旋ラリーではより一層成長した姿を見られるか。

公式Webサイト

Twitter

Instagram

Facebook

YouTube

ラリージャパンの最新情報は公式WebサイトおよびSNSでチェック!



Title Partner



Gold Partner



Silver Partners



三井住友海上

Bronze Partners



NKC



NISHIO



PUMA



TAMADIC

Official Supporters & Official Supplier



愛知県・岐阜県
オートヨ夕販売店



感動のそばに、いつも。